

こらぼーよ

“こらぼーよ”って？

コラボレーション(共同、協力)と「~しようよ」を組み合わせ、『みんな協働で男女共同参画センターで男女共同参画社会の実現に向けて活動しようよ』という想いが込められた愛称です。



第16号
2010
12月発行

発行：三木市男女共同参画センター

編集協力：情報誌こらぼーよ
編集グループ



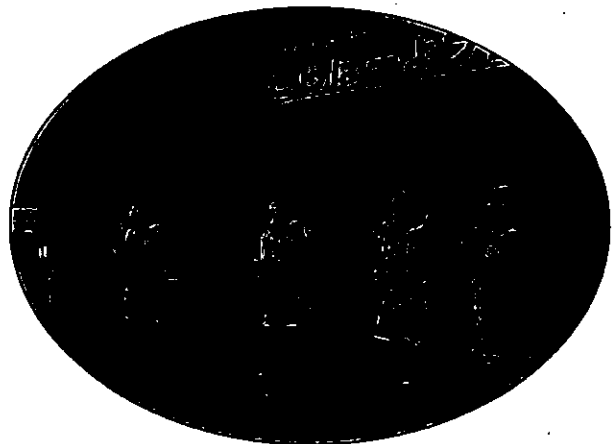
こらぼーよフェスタ
男女共同参画川柳・優秀賞

【その料理食べたいたい賞】
味付けも 手際の良さも 妻を超え
(松島さん)

【仲良しでいい賞】
パールック 時空の彼方 介護ペア
(西垣さん)

【優秀イクメン賞】
パパ達も 育児日記を 回し読み
(大場さん)

【自画自賛賞】
退職後 新たに決める 家事分担
(三田さん)



さわやかなハーモニー・Wish(ウィッシュ)の皆さん
(10/16こらぼーよフェスタ)

応募していただいた川柳は、12/1 (日)~12/15 (日) みっきいホール
プロムナードで展示します

こらぼーよフェスタ開催

男女共同参画社会に向け頑張る仲間が集いました



木下さん(焚き火会)



東さん(スクラム)



見口さん(ぴかぴかクラブ)

10月16日(土)。まだ記録的な残暑が残っている秋晴れのなか、こらぼーよフェスタが開催されました。男女共同参画センターが、平成14年9月2日に女性センターとして発足して8年、周年事業からフェスタと改名して2回目のフェスタです。

男女共同参画センターに集うグループや地域に根ざした活動をしているグループの発表や、子育て支援活動をしている市内22のグループの展示など、盛りだくさんの内容のフェスタとなりました。

オープニングは、女性4人のアカペラグループによるさわやかな歌声です。思わず心を遠い、若かった?頃にワープさせていただきました。

一部は、グループ「焚き火会」の木下清恵さん、一般社団法人自立支援センター「スクラム」の東洋一郎さん、NPO法人「ぴかぴかクラブ」の見口敏郎さんの3人の方々の活動発表でした。木下さんは子育て支援活動、東さんは終末医療への取り組み、見口さんは美化活動をはじめとしてのまちづくり運動にと、人とつながり地域に根ざした地道な活動を情熱をもってされている熱い思いがその発表から伝わってきました。

二部は、和ネット丹波による朗読劇と、高坂純子さんの講演でした。朗読劇は男女共同参画の視点に立った日常の会話を劇に仕立てたものです。思わず「あー、あるある。」「ほんま、そーや」と出演者に感情移入してしまいました。男女共同参画という硬い話題がごく身近なものと感じることができました。男女共同参画社会は私たちの毎日の生活のなかにある永年刷り込まれた意識を変えていくことで実現の方向に向かうのではと思いました。

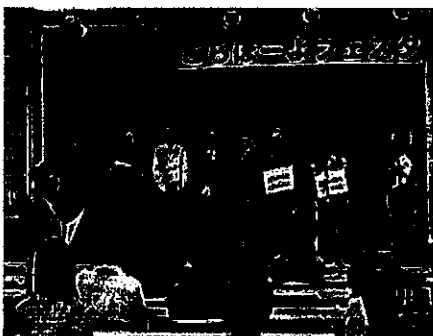
また、高坂純子さんによる「あいさつはコミュニケーションの第1歩」と題した講演では、人間関係を築くうえでのコミュニケーションの大切さを教えていただきました。そして、今日から、今からでも実践できる会話術を来場者同士で実践しました。「レッツ、トライ」。言葉に加え笑顔で心の窓を開け会話することでなごやかな雰囲気流れ、そこに風通しのよい人間関係が作られることを実体験できた講演でした。

子育て応援情報広場でパネル展示に協力していただいた22に及ぶ多くのグループなど、男女共同参画推進の輪が着実に広がっていることを感じさせる“フェスタ”でした。

次回にはまた、新たな仲間が加わることは確実だと思いました。



高坂純子さんによる講演



和ネット丹波による朗読劇



手作り品のバザー



子育て応援情報広場

三木市男女共同参画セミナーの報告

親子で絵本カフェ

H22.10.22 開催



「親子で絵本カフェ」は絵本の読み聞かせと、それにまつわるお菓子づくりを楽しむセミナーです。

この日は、秋にぴったりの「お団子」でした。かわいい紅葉のような手でダンゴをまるめます。

中にはハート型あり、棒状ありと個性的。かぼちゃの裏ごしを入れ黄色いお団子もできました。あとは沸騰したお湯にいれ、水に取ります。きな粉やあんこをまぶしていただきます。1番の人気はきな粉でした。

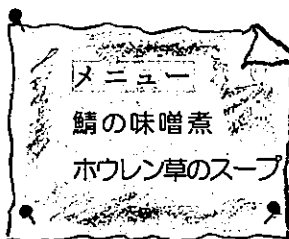


絵本スタッフによる紙芝居を見ている子どもたちは物語の中に引き込まれていました。絵本とお菓子づくりを親子で楽しんだセミナーでした。(おうちで留守番のお兄ちゃんにお土産もできました)

絵本スタッフによる紙芝居

男のエプロン料理教室

H22.10.23 開催



今年度は新しい仲間が加わり、料理は殆んど始めてという方もありました。先生の説明に熱心にメモをとる方もあり、先走ってどんどん進む方あり。緊張の中にも、だんだん出来上がっていく楽しさが現れてきました。普段、なにげなくこなしている料理ですが、講師のお話で、「あ、そーう理由で、こんな切り方をするんだ」と納得しました。基本の「き」が出来ていない事を反省。

本日のメニューはお袋の味の定番、鯖の味噌煮



でした。家族に好評?で何回もつくった方もあるようです。

男性の参画推進は家族の褒め言葉が効果大ですね。

火加減が勝負!



参画図書情報コーナー あんな本!こんな本!いい本ピックアップ



『経産省の山田課長補佐、ただいま育休中』
山田正人 著
日本経済新聞社
2006年発行

3人目の子どもに育休をとったパパ。育休をとって見えてくる世界と、取ったことで見えてきた今までの仕事の世界。子育ての中から見えてくる社会の問題。子どもの成長を間接的に感じる喜びと、新しい発見などがつづられています。この機に育メンになりたいと思われている方におすすめです。



おとうさんの育自書

『おとうさんはウルトラマン / おとうさんの育自書』
宮西達也 作/絵
学研
2005年発行

すごいことができなくても、弱くて、かっこわるくても、子どもを心から愛してる。子どもにとっておとうさんはいつまでもウルトラマンです。子どもと一緒に自分が育つためのポイントが15に分けて愉快的イラストとともに学べます。すぐにでもウルトラマンになれそうな気がしてくるそんな一冊です。



『育児・介護休業法』が改正されました

働く女性が、子育て期間中でも仕事を継続できる制度（短時間勤務制度、所定外の勤務免除等）が導入されました。また、父親も育児休業を取得しやすいように「パパ・ママ育休プラス」制度の創設や、父親が子の出生後8週間以内に育児休業を取得した場合、2度目の育児休業も取得可能になりました。

また、仕事と介護の両立の支援として、従来の介護休業に加え、要介護の家族の通院の付き添いなどに対応するため、年5日の休暇を取得する制度も創設されました。



一人で悩まず相談しましょう



女性のための相談室

相談無料・秘密厳守・女性問題相談員が相談に応じます

(予約制) 面接相談

火曜日/13:00~16:00

木曜日/10:00~12:00

(予約受付) TEL 0794-89-2331

月~金/9:00~17:00

電話相談

火曜日/10:00~12:00

木曜日/13:00~16:00

専用電話 0794-89-2354

「女性のための チャレンジ相談」

12/15、平成23年1/19、2/16、3/16

(第3水曜日)

10:00 ~ 12:00 (1回50分)

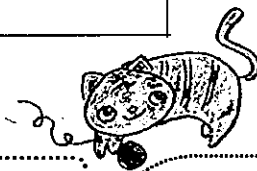
- ・再就職したいけど、どんな職種が私にあってるかしら?

- ・働いた時の年金や税金のことで聞きたい

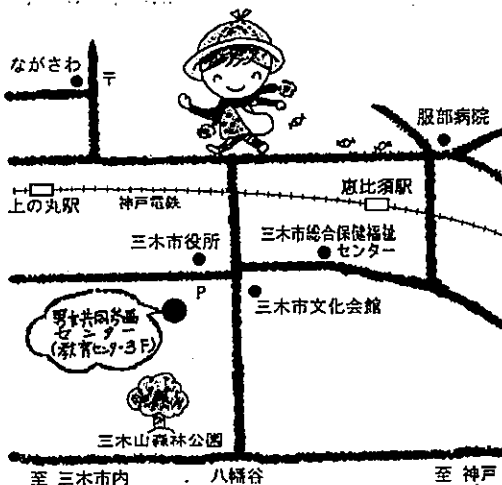
- ・地域活動に興味があるけれど・・・

専門の知識・経験を持つ女性相談員が相談に応じます

【要予約】 TEL 0794-89-2331



三木市男女共同参画センター案内



三木市男女共同参画センター

(愛称こらぼーよ)

〒673-0433

三木市福井1933-12

(三木市立教育センター3F)

TEL&FAX 0794-89-2331

開館時間 9:00~17:00

休館日 土・日・祝日・年末年始

E-mail:jinken@city.miki.lg.jp

ホームページや広報みきもご覧ください

編集後記

あらゆる事に異変続きでしたが、無事に四季は巡り寒い冬到来です。来年はホットな話題が盛りだくさんな事を祈りつつ、良いお年を! by: リッチー

